

# しなやかな知性をもって、それぞれの「持ち場」へ



法学部長  
**中島 康予**  
Yasuyo NAKAJIMA

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、これまでみなさんを支え、このよき日とともに迎えられた全ての方々に、心からのお祝いの言葉をお伝えします。

「グローバル化」が進む世界に目を向けると、人びとの命が脅かされ、当たり前の暮らしや、ささやかな幸せや希望が奪われている事態に無力感を抱く人も少なくないでしょう。価値や利益のちがいをもとに、境界線/分断線を引く暴力を前にして私たちは目を伏せ、たじろぎ、あるいは、暴力による問題解決に我が身をゆだねる誘惑にかられます。今日の日本で「法の支配」や立憲主義がおろそかにされていることも、この誘惑と無縁ではありません。

法学や政治学を学んだみなさんに求められているのは、こうした誘惑に抗するしなやかさをもって世界と向き合うことです。多様な価値や利益を追求する人びとの交流を促進したり、そこに生じる紛争や対立を未然に防止したり解決することを通して、自由で平和な社会を築くことへのニーズは、ますます高まることでしょう。「3.11」を契機として、これまでの社会のあり方の深部を見つめ直し、今後の社会のあり方を構想し、未来を切り拓くことの大切さはもとより、今、そこで、問題を抱えている人びとに寄り添い、その声に誠実に耳を傾け、問題解決に真摯にとりくむ人びとの存在意義に、私たちは既に気づいています。

卒業生のみなさんが、それぞれの「持ち場」で、法学・政治学の専門的知識をいかし、他者とともに意思決定を行い、行動に移す力、「行動する知性。」に磨きをかけ、活躍されることを願っています。

# 「当たり前」のことを当たり前前に



経済学部長  
**篠原 正博**  
Masahiro SHINOHARA

卒業生のみなさん、そしてみなさんを支えてこられたご家族のみなさま、ご卒業おめでとうございます。大学で専門分野の学問を修められたみなさんは、これからの新しい日本を築く方々です。心からの期待を込めてお祝い申し上げます。

さて、みなさんは新しい人生にわくわくされていることと思いますが、先に社会に出た先輩として、アドバイスを若干したいと思います。

若いみなさんにとって健康でいることは「当たり前」のことでしょう。しかし、仕事上のストレスや無理で心と身体のバランスを崩し、仕事や人生のゴールを前に倒れてしまった方をみてきました。日々の食事に少し気を配るだけでも、結果は大きく違ってくるものです。例えば、みなさんが大好きな「焼き肉」や「牛丼」に「豚カツ」など…、脂身がおいしいですね。しかし、すき焼きを食べ終わった鍋をそのままにして、油が白く固まっているのを見たことはありませんか？ 食用の肉としては牛・豚・鶏が一般的ですが、牛も豚も鶏も体温が40度前後あり、その体温の中で脂肪が固まらずにいるのです。みなさんがご存じのように、人間の体温は36度前後です。その血管の中で白く固まった油をイメージしてください。動脈硬化の原因になりますね。唯一、鶏肉だけは油分の融点が低いので、動脈硬化に影響しにくいといえます。ただし「鶏の唐揚げ」をラード(豚油)などで揚げてなければいけません。食事の度に、健康を意識し「選ぶ」ことで、ある程度の自己防衛ができることを覚えてください。

仕事の発想に常識など不必要ですが、仕事や日常の人間関係には、この常識が大切です。「今の若者は常識がない」と思われている現在、礼儀や感謝などの、みなさんが古くさいと思われる態度が個々の評価に大きくかわるものなのです。

私の中大生に対するイメージは、「素直で」、「真面目で」、「堅実」です。「ウサギ」と「カメ」に例えると、「カメ」さんタイプが多く、一步一步が着実です。これからの人生はサバイバルになるでしょうが、「時間を守る」、「約束を守る」、「挨拶をする」などの「当たり前」のことを当たり前前にできる人になってください。みなさんのご成功をお祈りいたします。